

# 燃え広がりにくいまちへ

今 やるべきこと、できることは...

木造住宅が密集する地域における、日頃の火災対策について  
考えよう

日時 令和6年1月21日(日)  
14:00~16:00

場所 谷塚文化センター 3F ホール

# 本日の流れ

## 1. 谷塚谷際地区の概要

- (1) これまでの経緯
- (2) 対象区域
- (3) 区域の現状、課題
- (4) これまでの取組
- (5) 今後について

## 2. 地震火災のリスクと対策

- (1) 地震火災とは
- (2) 地震火災の詳しいメカニズムと対策

## 配布資料（5点）

- ① スライド(草加市)のコピー（A4）
- ② スライド(廣井教授)のコピー（A4）
- ③ 出席票 兼 キッチン消火スプレー備え付け承諾書（A5）
- ④ 本日の講演会に関するアンケート（A4）
- ⑤ キッチン消火スプレーの使い方・捨て方についての案内（A4）

記録作成のため、撮影・録音を行います。  
ご了承ください。

# 1. 谷塚谷際地区の概要

# 1. 谷塚谷際地区の概要

## (1) これまでの経緯

埼玉県では、比較的小規模な“住宅密集地”が点在しています。

木造住宅が密集する地域では、大規模地震等が発生した場合、建物の倒壊や火災の延焼等により、甚大な被害が発生するおそれがあります。



木造密集市街地の整備を計画的、重点的に進めるための全県的な調査実施

H24年度

・地震時に著しく危険な密集市街地として川口市が指定

H28年度

・「川口市」、「上尾市」、「草加市」が埼玉県燃えないまちづくり事業の改善モデル地区に選定

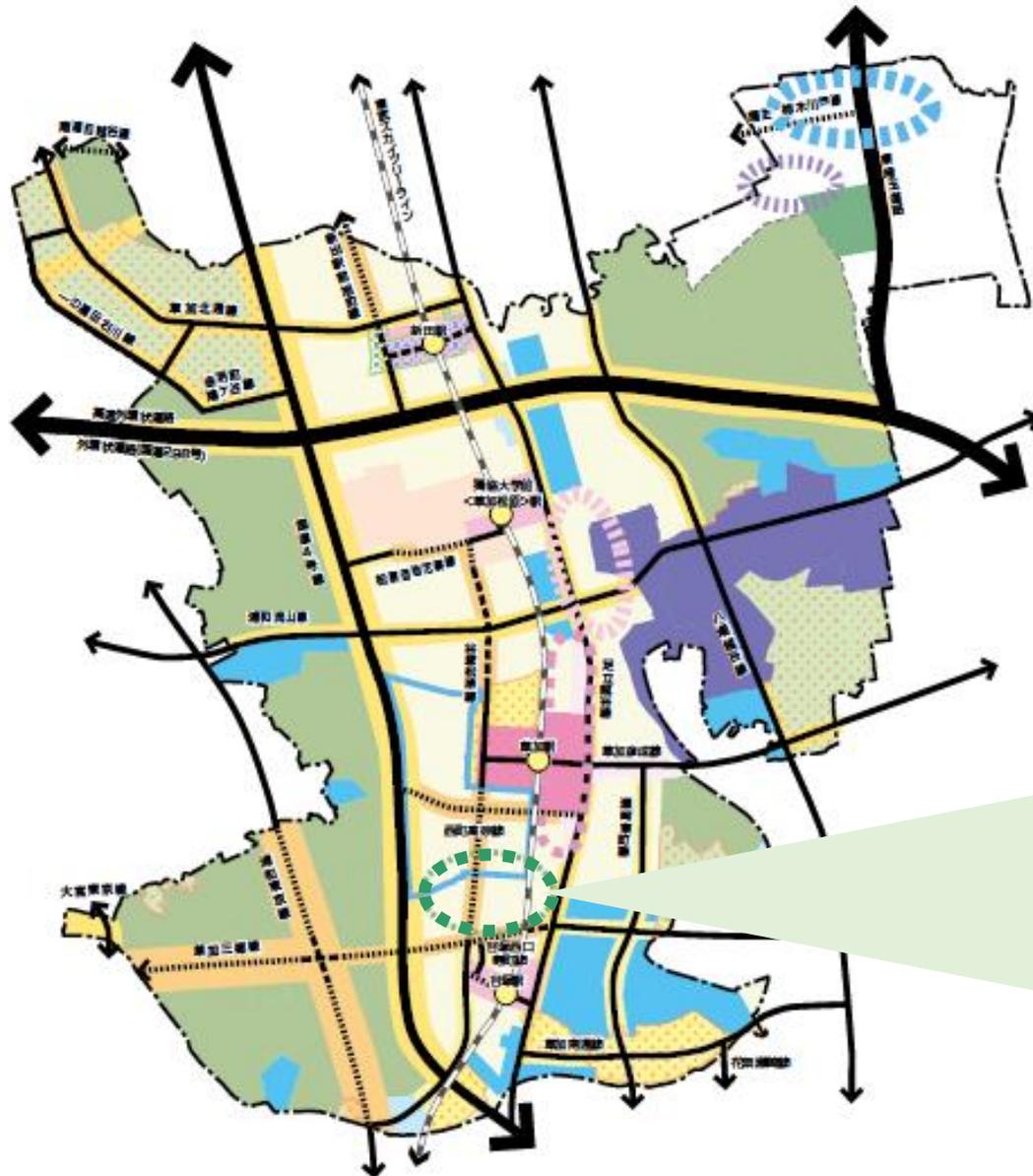
H29年度～

・改善モデル地区において、住宅密集地における災害リスクの改善策を実施

# 1. 谷塚谷際地区の概要

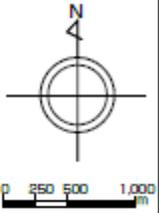
## (2) 対象区域

草加市都市計画マスタープランより



### 凡例

リノベーション推進モデル地区	環境維持型住共存地区	多世代交流推進モデル地区
文化推進地区	動向把握型住共存地区	永川町土地区画整理事業予定区域
企業誘致推進地区	沿道活用地区	新田町土地区画整理事業区域
スポーツ推進地区	沿道活用検討地区 (都市計画道路(環濠河))	土地区画整理事業実施河地区 (工業系以外)
防災機能改善モデル地区	沿道活用検討地区 (都市計画道路(木瀬河))	市街化調整区域
商業集積地(草加駅周辺地区)	住宅健全安全地区	骨格道路(環濠河)
生活集積地(新田町・獨協大学前<草加松原>駅-谷塚駅周辺地区)	住宅健全誘導地区	骨格道路(事業中)
工業系地区	一般住宅健全地区	骨格道路(木瀬河)
都市型複合地区	一般住宅誘導地区	駅



草加市都市計画マスタープランにおいて、「防災機能改善モデル地区」に位置付けられています。

### 《理由》

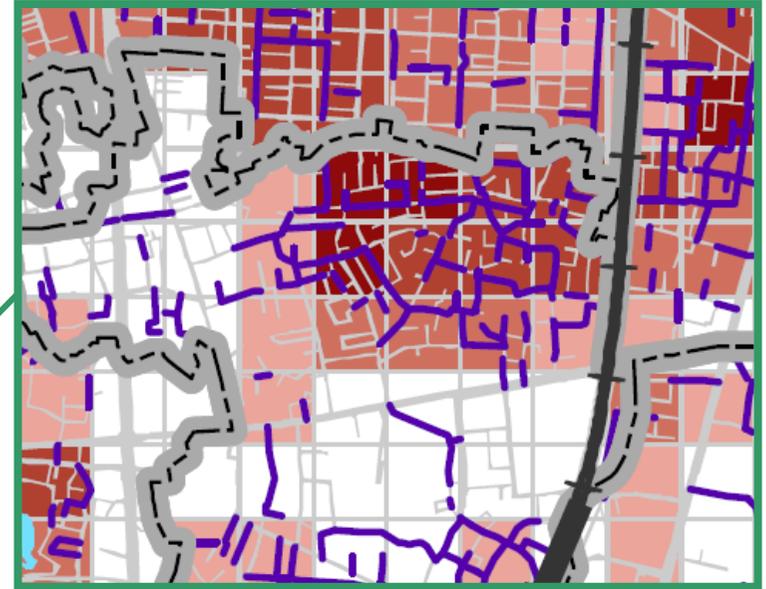
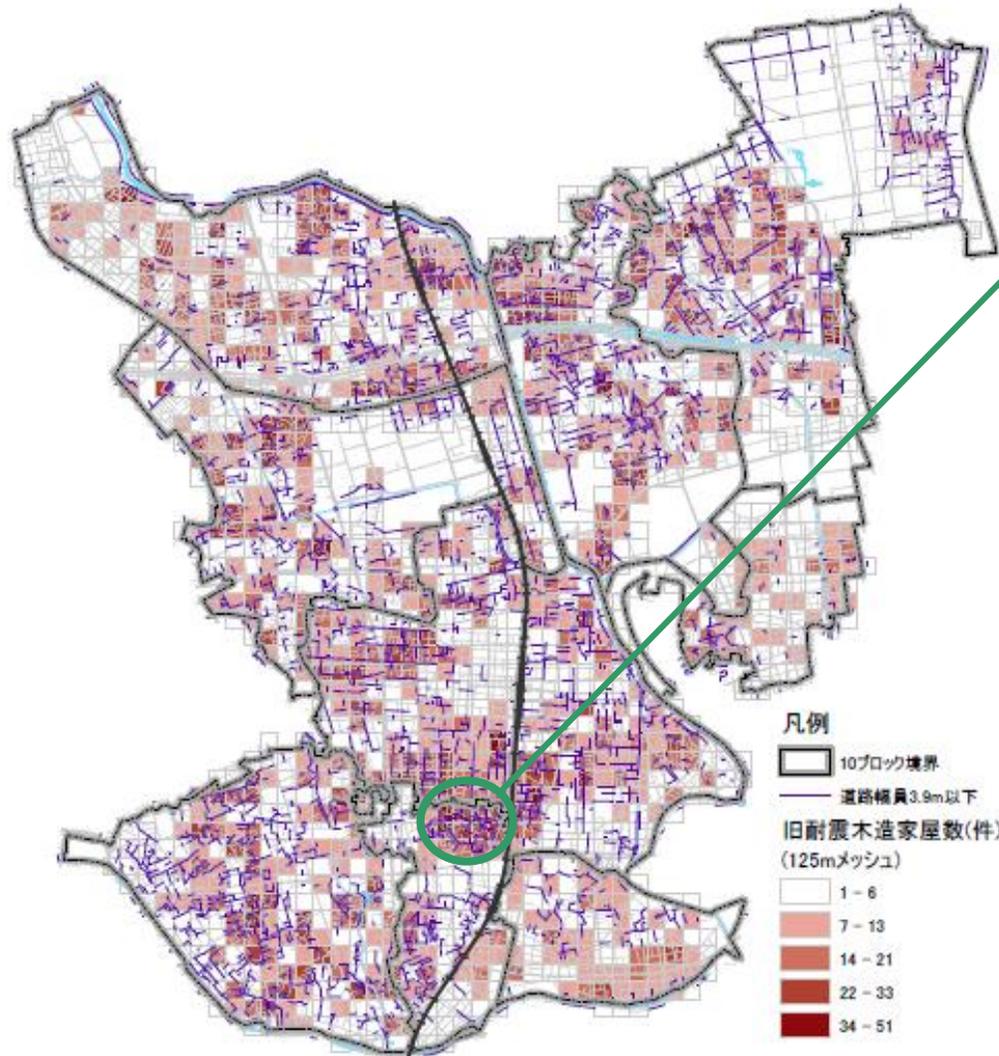
- ・新築されてから築年数が経過している木造建築物が密集している
- ・狭い道路が多い

# 1. 谷塚谷際地区の概要

## (3) 区域の現状・課題

草加市都市計画マスタープランより

■旧耐震建築物分布状況図



旧耐震建築物の分布状況  
谷際周辺地区は、市内でも特に旧耐震建築物が多い地域となっています。

※旧耐震建築物とは...  
S56年5月31日以前の旧耐震基準により  
建築された建築物

# 1. 谷塚谷際地区の概要

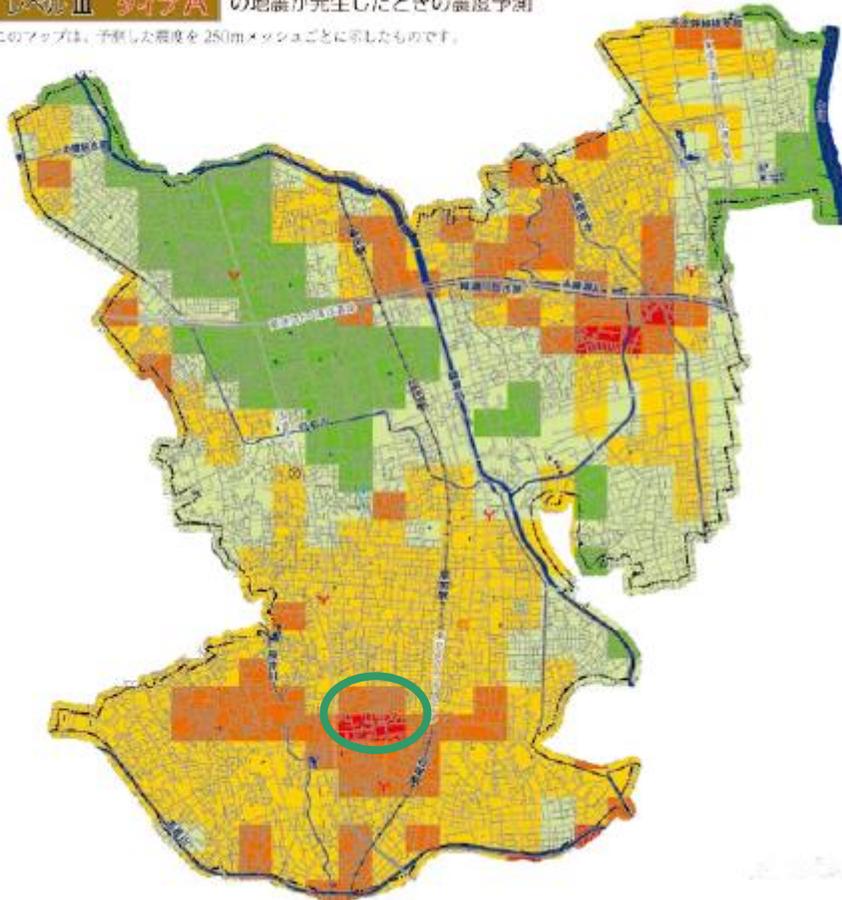
## (3) 区域の現状・課題

草加市都市計画マスタープランより

■震度予測図

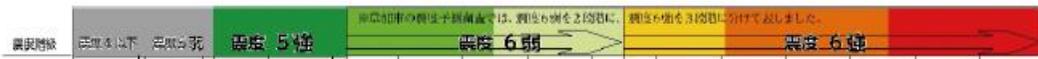
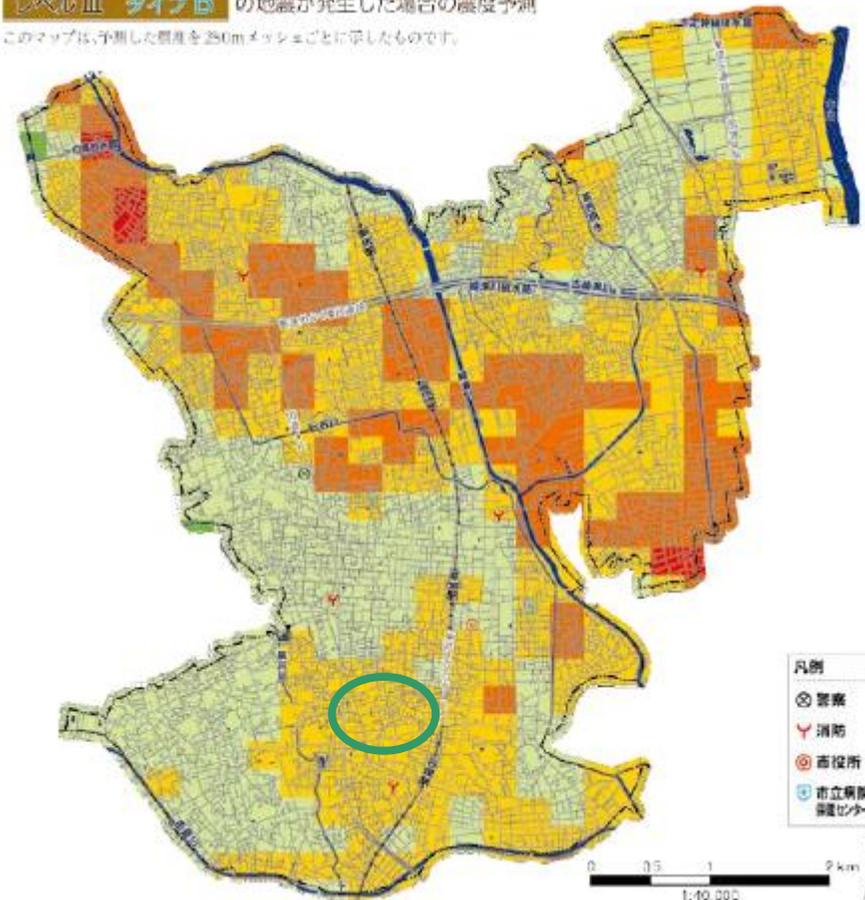
レベルⅢ タイプA の地震が発生したときの震度予測

このマップは、予測した震度を250mメッシュごとに示したものです。



レベルⅢ タイプB の地震が発生した場合の震度予測

このマップは、予測した震度を250mメッシュごとに示したものです。



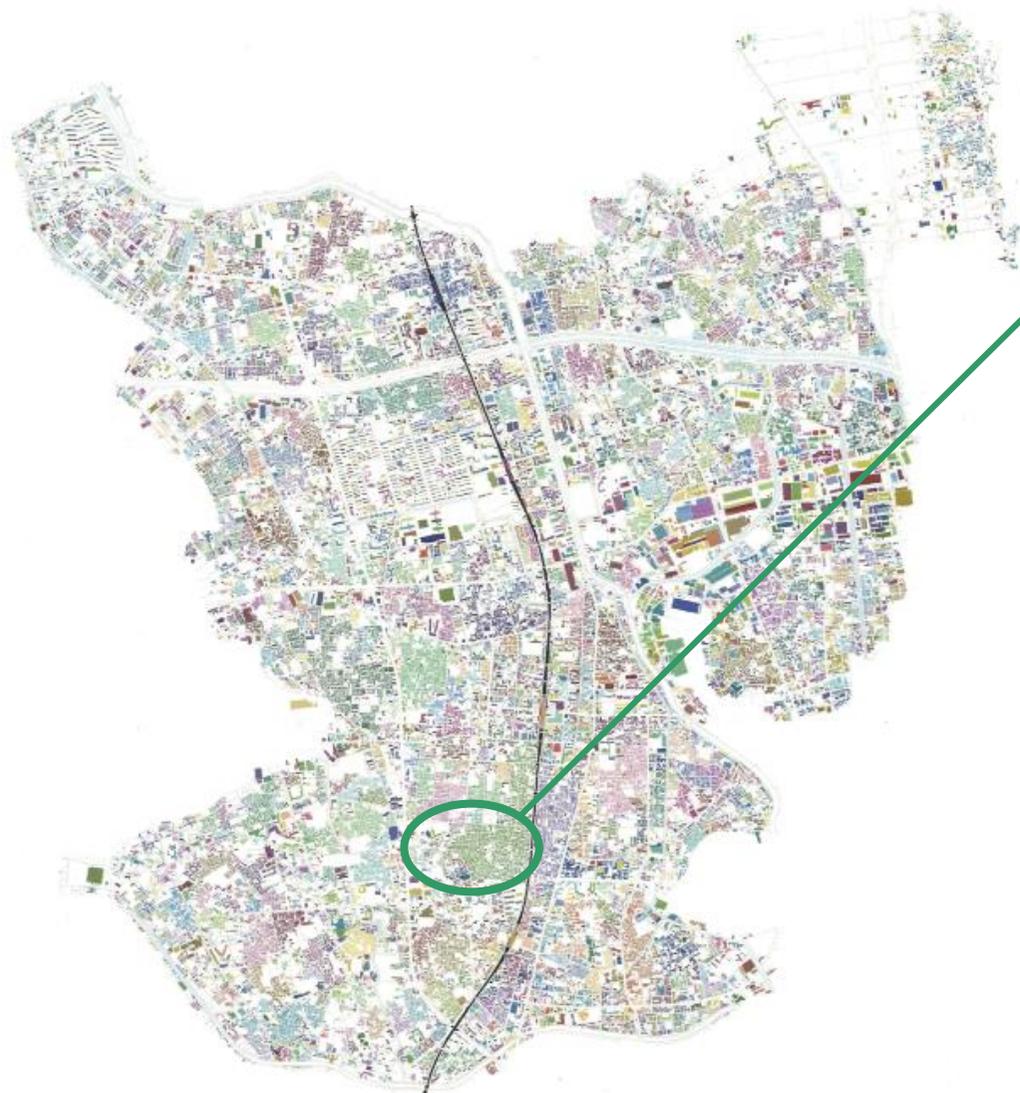
資料：草加市地震被害想定調査（平成27年度）

※草加市では、東京湾北部地震や茨城県南部地震（タイプA）と、関東平野北西縁断層帯地震や立川断層帯地震（タイプB）と同様の周期特性をもつ地震動を与えると、市内の揺れ方や建物被害予測も大きく変わります。

# 1. 谷塚谷際地区の概要

## (3) 区域の現状・課題

草加市都市計画マスタープランより



### 《延焼リスクの状況》

任意の場所から出火したと仮定し、消火活動を行うことができなかった場合、延焼リスクが高い地域となっています。

この図では、同じ色で着色された範囲が一体的に延焼する恐れがあることを表しています。

※上記のような仮定のもと、一体的に延焼する恐れがある建物群のことを、延焼クラスター といいます。

# 1. 谷塚谷際地区の概要

## (4) これまでの取組

H29年度以降、地区内において以下の取組を行ってきました。

- ① 感震ブレーカーの配布
- ② 地区内の防災力向上のための啓発事業
- ③ 緊急避難路の確保
- ④ ポケットパークの活用

# 1. 谷塚谷際地区の概要

## (4) これまでの取組

### ① 感震ブレーカーの配布

H29～30年度にかけて、町会・自治会様ご協力のもと、希望があった830世帯に対し感震ブレーカーを配布しました。



※感震ブレーカーとは...

地震発生時に既定以上の揺れを感知した際に、ブレーカーやコンセント等の電気の供給を遮断する器具です。

谷際地区では、簡易タイプ(おもり式:668個、ばね式:162個)を配布しました。

### ② 地区内の防災力向上のための啓発事業

専門家を招いての懇談会や、地域の方々との防災上の課題共有や意見交換等を通じて、地域の防災力を高めるための取組を検討しました。

# 1. 谷塚谷際地区の概要

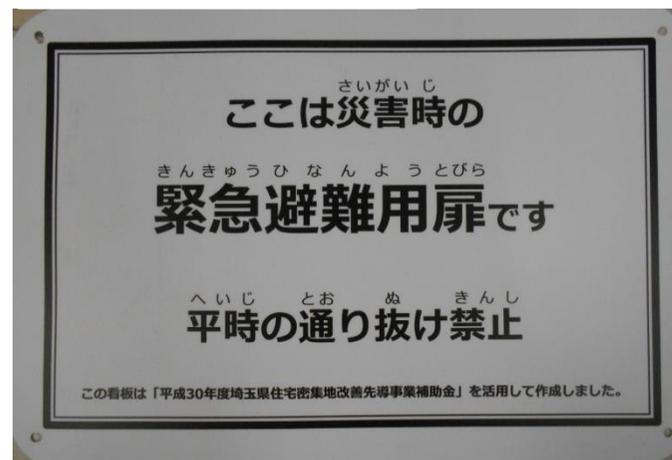
## (4) これまでの取組

### ③ 緊急避難路の確保

地区内に2箇所の緊急避難路を確保しています。

普段は民有地ですが、緊急時に通行できるようにご協力をいただいています。

#### 緊急避難路 看板



#### 緊急避難路 ①



#### 緊急避難路 ②



# 1. 谷塚谷際地区の概要

## (4) これまでの取組

### ④ ポケットパークの活用

地区内において、暫定的に2箇所のポケットパークを整備しています。

空き地を設けることで、災害時の延焼遮断や一時的な避難箇所としての効果があります。

※ポケットパークとは...

まちなかに設けられた小規模の公園(広場)のこと。

ポケットパーク ①



ポケットパーク ②

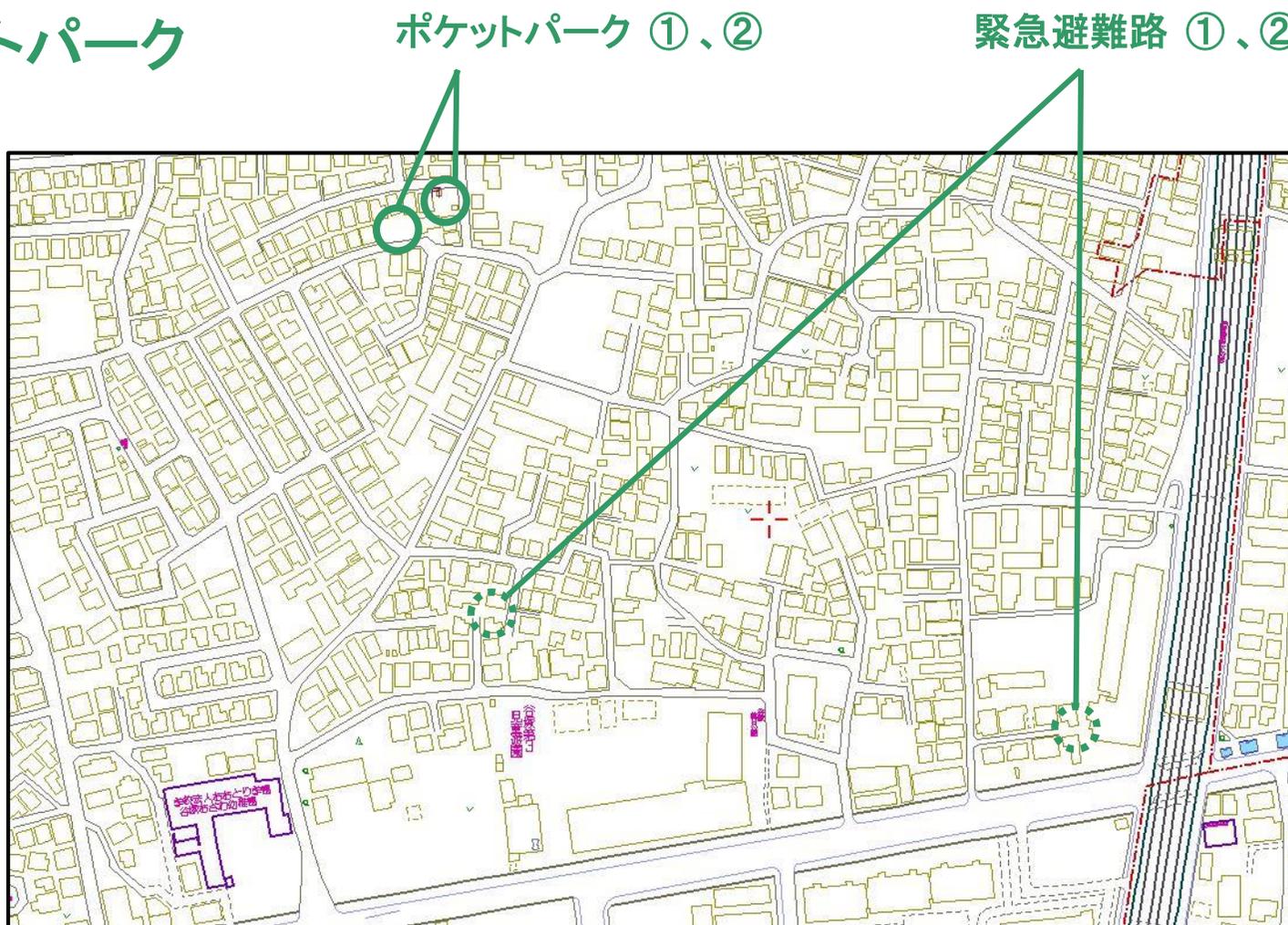


# 1. 谷塚谷際地区の概要

## (4) これまでの取組

### ③ 緊急避難路

### ④ ポケットパーク



# 1. 谷塚谷際地区の概要

## (5) 今後について

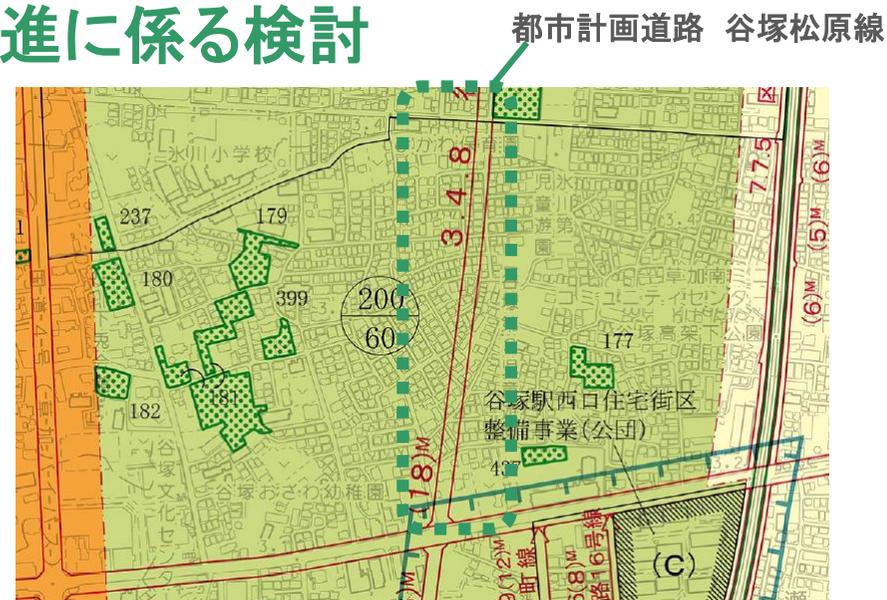
### 谷際周辺地区の今後のまちづくりにおけるポイント

#### ① 建物の建替促進や準防火地域の指定に係る検討

建築物の外壁や軒裏の防火性能を高めることで、延焼拡大のリスクを抑えることが期待できるため、準防火地域の指定を見据えた検討を進めます。

#### ② 都市計画道路や公園・広場等の整備促進に係る検討

災害時の避難経路や延焼遮断機能の確保のため、都市計画道路(谷塚松原線)や公園・広場等の整備を見据えた検討を進めます。



#### ③ 防災意識啓発

地域を対象とした講演会等を通して、住宅密集地における日頃の防災対策や今後のまちづくりについて、地域の皆さまと一緒に考えていきます。

## 2. 地震火災のリスクと対策

## 2. 地震火災のリスクと対策

### 講師紹介



### 東京大学 廣井 悠 教授

#### 専門分野

都市計画の視点から見る都市防災の在り方 ほか  
「大都市防災」のテーマを中心に多種多様な研究を展開。

都市の安全性について、都市機能(利便性や快適性など)とのバランスを保ちながら、どのように実現していくか について研究。

#### 近年の功績

令和5年度防災功労者・内閣総理大臣表彰 受賞

令和5年度科学技術分野の文部科学大臣表彰・科学技術賞 受賞

ほか 多数